

新入社員の初々しい姿を見かける季節です。着慣れないスーツに身を包み、やる気が溢れている姿に、つい若かりし頃を思い出します。新人の頃は、周りに気を配り他人に気遣い、緊張した日々が続きます。しかし、いつしか周りへの気配りや気遣いが怠慢になり、自分本意の考え方になっていきます。それではいけません。ベテランになればなるほど、人の上に立てば立つほど、人を気遣う他人を思う気持ちが大切です。新入社員を見て、自分の人権意識に問いかけてみてください。彼らのお手本となるよう努めたいものです。



探してみよう！未来のお仕事

山梨県内に暮らす子どもたちは、自分の将来の職業について考えたり体験したりする機会がどの程度あるでしょうか？おそらく、一番多い機会は「中学生の職場体験」だと思います。県内のほぼすべての中学校で、2年生を中心に数日間の職場体験を実施しています。また「高校生インターンシップ推進事業」では、専門高校においては卒業するまでに全員を、また、普通高校や総合学科高校では希望者を対象に、民間企業や公営企業で就業体験を3日から1週間くらい行います。(※1)

しかし、「もっといろんな職業や会社を知りたい、体験したい」という場合、どのような方法があるでしょうか？山梨県では、学生の県内就職を促進していくため、就職支援サイト「やまナビ！」を今年3月1日にオープンしました。(※2)このサイトでは、県内企業の詳細情報、写真・動画、先輩社員の声など、企業の魅力を多角的に紹介しています。また、AIが学生の適性を分析してお勧め企業を提示するなど、自分では気づけなかった企業と出会うきっかけづくりにも役立ちます。

同サイト中の「小中学生向けコンテンツ」さがしてみよう！発見・未来のお仕事では、「好きなことから探してみよう」(どんな仕事がある?)や「職場体験・見学ができる会社をさがす」などから、自分の興味のある仕事や見学できる会社を探すこともできます。(※3)

韮崎市商工会等では毎年7月下旬の数日間、「ニラサキ・オープンファクトリー」(韮崎市の製造業を知ろう！ものづくり体験イベント)を開催しており、事前に申し込みれば市内約30の企業の見学や様々な体験学習をすることができます。(※4)他市町村の商工会議所や商工会などでも、類似の取組を行っている処があります。

子どもを育てる親の立場からは、自分の子どもが将来、適性とやりがいのある仕事に就いてほしいと心から願っていることと思います。しかし、家庭と学校だけの経験では、どんな職業が子どもに向いているかを本人や親が知る機会は多くはないかもしれません。できれば、子どもが社会に巣立つまでに、家庭や学校、地域の行政や企業などがお互いに協力して、一人ひとりの子どもや学生にできるだけ多くの職業体験や社会参加(ボランティア活動等)の機会を創ってほしいと願っています。



(※1) 山梨県教育委員会「高校生インターンシップの手引き【生徒編】」
<https://www.pref.yamanashi.jp/documents/3826/67553571251.pdf>



(※2) 山梨県公式就職支援サイト「やまナビ！」
<https://yama-navi.pref.yamanashi.jp/>



(※3) 同サイト「さがしてみよう！発見・未来のお仕事」
<https://yama-navi.pref.yamanashi.jp/future-job/>



(※4) 韮崎市商工会等「ニラサキ・オープンファクトリー 2025」
<https://nirasaki-openfactory.jp/2025/>

活動報告

人権啓発講演会 3月6日(金)甲府市役所庁舎において、市民講演会を開催しました。



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史
理事長：横山美香

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

<協賛>
山梨県
甲府市
甲斐市

